

日弁連 公害環境委員会水部会の武庫川調査（2007/1/22 9：00-12：00） 松本誠

日弁連からの要請ヒアリング内容について（2006/12/22、赤津弁護士からの連絡）

武庫川流域委員会に対する懇談事項

1. 委員会の運営方法について、準備委員会の意見に基づき、実際にはどのような方式で運営がなされたのかお教え下さい。その運営方式のメリット・デメリットなどお考えがあればお教え下さい。
2. 河川整備基本方針の原案の段階での意見を求められたということで、委員会の審議について困難なことはありましたでしょうか。ありましたらお答え下さい。
3. 審議を行うにあたり、公募委員が多いことによる支障等ありましたでしょうか。あればお教え下さい。特に推薦委員の方からの意見もあればお教え下さい。
4. 利害対立がある分野（利水問題やダム問題）に関する委員が推薦委員として選任されていますが、そのことのメリット・デメリットなどあればお教え下さい。
5. 基本高水などの専門的な事項までも意見を述べるにあたって、公募委員が多いことから何か具体的な支障がありましたでしょうか。公募委員の方からの意見もあればお教え下さい。
6. 流域委員会において、委員以外の一般住民の意見をくみ上げるような機会はあったのでしょうか。その場合に、一般住民との間で、意見の相違はありましたでしょうか。あればその内容を教えて下さい。そして、意見の相違を埋めるために対応されたことあればお教え下さい。
7. 実際に、委員会の意見を集約するにあたっての、苦労した点等ありましたらお教え下さい。
8. 流域委員会の事務局である兵庫県河川計画課の果たした役割についてどのように評価されていますか。